

神奈川山梨教会連合会たより

# かりん

## 「記念祭を終えて」

今村誠先生は、昭和五十年一月十七日、現教会長今村國廣先生、久子先生の長男として出生されました。高校卒業後、社会人を経て、平成六年に金光教学院に入学、翌年卒業し、六月金光教師となられました。平成八年には則子師と結婚され、四人のお子さんに恵まれました。

連合会では長く、レクリエーション部門で活躍されています。

○今年五月五日、生麦教会布教八十年記念祭がありました。準備など大変だったのではないですか？

今村誠先生（以下…誠）…そうですね。準備はそう大変でもなかったと思いますが、教会長と自分、家族やご信者さんなど、みんな記念祭を仕えさせて頂くにあたり、イメージがそれぞれありましたが、そこをきちんと話をせずに記念祭が迫ってきたので、直前でバタバタしてしまいました。

総代始めうちのご信者さんには、対応が後手になり、申し訳なかったと思います。しかしながら、皆さんのおかげで、無事終

えることが出来ました。誰一人欠けていても困るという中、みんなが精いっぱい御用していただけたので、本当にありがたかったです。

○記念祭を終えて、今どういった心境にありますか？

川でスベって山でコロんで…とってきました

# Interview

第46回 生麦教会 今村 誠先生



誠…無事終わってほっとした反面、後からあれが足りなかった、これが足りてなかった、など、反省することもあります。

前回七十五年祭の頃は、祭事の事は父が、事務的な事は母がしており、母が元気で、あれこれと段取りし、心配りして御用するので、

自分は言われた事をすればいい、という感じでした。しかし、母は数年前より難病指定の「脊髄小脳変性症」という病気を発症し、体が思うように動かなくなっていました。母のやってきた御用を、家内と二人で、母に教わりながら、なんとかこな

す、という感じでした。

○認知症のようなご病気なのですか？

誠…いいえ、違います。認知症は、記憶など司る大脳の萎縮や障害で起こりますが、この病気は、運動を司る小脳が、萎縮や障害により機能が弱り、体を動かす命令が届きにくくなる病気です。思うように舌も動かないので、しゃべりが拙くなってしまい、勘違いされやすいのですが、ゆっくり聞くと何を言っているかわかるので、自分も家族も困った時には相談しています。

○久子先生も大変ですね。

誠…大変だろうな、と思います。急な事で家族も介護に慣れない中、いつも笑顔で家族に接して、不満を全く言わないので、母ながら凄いな、と。長く信心してきた賜物なのかもしれません。

信者さんも慕って下さり、これまでの母の生き方が、今表れているのだなと思います。家族の為にもみんなの為にも、元気で長生きしてもらいたいと思います。

○ありがとうございます。（今村則子）



## みんなのついで①

## 野毛山動物園ウォークラリー

四月十四日(土)、雨が心配された中、お天気のお繰り合わせをいただき、「みんなのついで」の一回目が「エンジョイ野毛山動物園」と題して開催されました。参加した老若男女三十六名が、動物園内のウォークラリーとクイズを楽しみました。

京急日の出町駅に集った参加者は、文字通りの山のような坂を登って会場の野毛山動物園へ向かいました。途中、開会式を行った後、動物園のゲートでみんなを出迎えたのは、動物の形をした「鯉のぼり」でした。キリン、レッサーパンダ、ライオンと何種類あるのか数えながら、ゲートをくぐりました。

最初は集合写真の撮影、小動物のような子ども達をカメラに向けながら撮影完了。先へ進みます。

まずは、様々な鳥を観察します。後に控えるクイズの答えが隠されているとあって、みんな真剣に(?)観察していました。次に、レッサーパンダからおサルさん、そして、爬虫類へと進んでいきました。

爬虫類の下にはトラとライオンが飼育されています。正面からだけでなくバックヤ

ードも見学できるようになっていて、檻にいらなくても見ることが出来ました。トラさん、ライオンさん、休憩中に失礼しました。更に、キリンやフラミンゴを見て、自由

行動へ、今は飼育されていないシロクマ舎に入れるようになっていて、意外に人気でした。実は檻に入った人を外から見ると、展示されている動物の名前の表示が「ヒト」となっていて、面白かったです。

最後に「なかよし広場」へ。モルモットやハツカネズミを実際に触れられる場所です。座布団を膝の上に乗せてもらってモルモットを楯でなでている子ども達の優しい目が印象的でした。

さて、園内でたくさんの方の知識を詰め込んだ後はクイズが待っています。その前にお弁当をお腹に詰め込んで、クイズ開始。三チームに分かれてクイズを楽しみました。脳の若さが勝敗を分けたようです。

(子安教会 村田光治)



## ○かりんの輪

## 「頂いたおかげ」

小田原教会 安武実子

二月十五日夜九時前、私の住んでいる所の通り隔てた前の家より出火。その家は全焼、隣りのマンションと私のマンションの玄関前の家が半焼。気がついて部屋の外に出た時には家はバリバリ、電線はバチバチと燃え、火柱が立ち、とても現実のものは思えず映画のワンシーンを見ているようでした。

とにかく教会にお届けの電話をしようと思いましたが、二回コールを聞いただけで「すぐに逃げないと危ないな」と思ったなら、停電。懐中電灯を持ち、鍵をかけて外に出るのがせいっぱいでした。

近くで他の人達と避難している最中、足はガクガクと震え、着の身着のままの寒さで体は固まっていました。そばにいた顔も名前も知らない方達が、私の背中をさすったり、お家にもどってコート、ホッカイロ、マスクのかわりにタオルを持ってきて下さいました。私はありがたい思いでいっぱいになりました。

「三〇二号室の安武さんいますか。」と声がし、返事をして行くと、宮川先生(教会長)が自転車で駆付けて下さっていました。私は、「神様が来て下さった」と思いました。



二月十七日、鶴見教会で今年度一回目の輔教懇談会が、講師の木本雅史師（横須賀教会在籍教師）を始めとして、輔教他十一名で開催されました。

今回の輔教懇談会は、『駅弁始めました』

という講題で、講師の木本先生の最近の活動を紹介いただき、本教の布教について考えてみようという狙いでした。

### 2.17 金光教鶴見教会

## 輔教懇談会が開かれました

おられると伺いました。

「駅弁売り」と称しているのは、金光教の教会は、すばらしい信仰でありながら、なかなか入りにくい。美味しい料亭のようである。料亭の料理を少しずつ詰めた駅弁

を売って、料亭の味を知ってもらおうように、街頭取次を行って、料亭（教会）へ来て料理（取次や折りの生活をいただく）も食べてもらいたいとの願いが元になっているとのことでした。

開業半年で二百人余の方が話をして行かれ、いつも決まってやってくる人もいて、案内もしていないのに教会まで来る人もでき、「街頭取次」を休むことができなくなっているとのことでした。

その中で実現した「おかげ話」の紹介もあり、その後の質疑応答と合わせて、自身の濃い時間を持たせていただきました。

また、お話の後に懇談に移り、今後の活動に活かすべく、輔教同士、互いの近況を報告し合い、散会となりました。

（小田原教会 辻秀志）



マンションの近くには出入禁止のテープがあり、とても鎮火しそうにないので、教会に泊めていただくことになり、奥様の晴江先生が車で迎えに来てくださいました。熱いお茶と御神米を頂いて休ませてもらいました。隣りのお部屋に優子先生（前教会長）がいて下さり、心と体はポカポカして暖かいのに頭だけはなぜかキーンと冴えていてほとんど眠れませんでした。

次の日、部屋に戻るのが怖かったのですが、朝食を頂いて宮川先生に車で送ってもらいました。ガス、水道、電気と心配なこととはなく、ホッとしました。頂いたおかげを一つ一つ思い出し、私は何て幸せ者なんだろうと。そして「あっ！そういうことだったのか」と分かって頂きました。

私は外出して家に帰る時いつも、「私がここで良き住人にならせていただきます様に。周りの方達が良き方達であります様に。あいよかけよで立ち行くおかげをいただきますように。」と心中祈念をしています。「神様が聞いていて下さったんだ！」と。

この度のこと一つ一つ良き方向へ良き方向へと導いて下さり、助けていただきましたこと。心よりお礼申し上げます。神様、教会の先生方がとうございまして。



## 金光教ビジネスセミナー報告

三月十一日、午後一時半から四時半まで、金光教鶴見教会でビジネスセミナーを行いました。参加者は、現役九名に加えてオプザーバ参加と先生方で合計十九人でした。

今回のテーマは「チャンスを作るタイムマネージメント」で、講師は、おなじみとなった日本橋教会の高橋章浩さんをお願いしました。

セミナーでは、タイムマネージメントの仕方として大きく2つの手法1「テキパキ素早く処理するタイムマネージメント」2「じっくり処理して価値を創造するタイムマネージメント」が挙げられ、参加者は自己紹介の中でどちら派かを分析表明し、この二つのテーマをもとに班分けして行いました。

デイスカッションの途中で各班から中間発表を行って、互いに質問やより深く討議してほしい注文を出し合い後半のデイスカッションに入りました。

まとめとしては、テキパキもじっくりもそれぞれ大事な要素であり、求められている事のニーズ(本質的価値)を掘り下げて、それに対応して良い仕事につなげていく事が大事です。

「テキパキ」に当たるみ教えとして  
◎「自分から日切りをして願え。一週間とか一日とか今のことを今とお願い申しとおかげを受けよ。」

また「じっくり」に当たるものとして  
◎「にわか金持ちになる者には、たいがい無理がある。時節を待たねばならない」  
◎「何事も先に頼んでおくが良い。十年後にこうして願っておいたが、こういうことになったということがある。」などが挙げられました。

講義の中で、私がハッと感じたものとしてスタンフォード大学のJクランボルト教授の言葉がありました。

- ・偶然の計画化、心の持ち方で偶然を招く
- ↓偶然を必然に
- ・多くが悲観的なものであっても、1つの前向きに心を置く
- ・ものごと失敗はつきものと考える
- ・なにかを失う心配より新たに得られることを

- ・必要以上に自分を責めない
- ・一度決めても、後から変えていい
- とてもポジティブな考え方で、「喜ぶと喜びが喜びを連れてくる」という言葉を思い浮かべました。

(藤沢教会)

高橋義吉



## 「シルバー教室の喜び」

丸子教会 渡辺宣子

今年一月二十一日、丸子教会では月例霊祭の後に恒例の新年会が行われました。昼食をとりながら、ビンコゲームやカラオケ等で盛り上げていきました。

その中で皆の歌に合わせ、私がシルバー教室で習ったハーモニカの伴奏をさせて頂くことになりました。「花」、「青い山脈」、「瀬戸の花嫁」、「ふるさと」と私の好きな歌でした。大勢の中、一人で吹くのは初めてでした。終わった瞬間、どうにか出来た、「金光さまありがとうございます」と心の中で叫びました。

私の信心は、三人目の子どもが0歳児の時肺炎にかかり、高熱のため重い障害児となってしまいました。その時から真剣に神様に向かう様になりました。何が何でも「金光様がついていて下さる」との思いで生活に取り組んでおります。そして、今年の教会の年間テーマである「ありがとうを心から」を大切に頑張っております。

## 金光教神奈川山梨教会連合会

発行者 山田 信 二

〒245-0017 横浜市泉区下飯田町926・23  
金光教横浜西教会内